

スパッと決まる (!?) ライティング評価を目指して ～フローチャートの活用～

ライティング評価のようなパフォーマンス評価には、これが絶対という評価点はありません。しかしながら、入試やプレースメントテストのように、複数の人で採点し、1つの点数に決めなければならない場合もあります。

Good Writingを構成する要素はいろいろありますが、評価をする際に、どの要素を優先するか、また、各要素の定義を決めておかないと、評価にずれが生じます。

今回のワークショップでは、「マルチプルトレイト評価基準」をもとに、私たちが考案した「目的・内容」「構成・結束性」「日本語」の3つのトレイトのフローチャートを使って、日本語学習者の書いたエッセイの評価を体験していただきます。

このフローチャートを使うと、お互いの評価がどこでずれているのか(例えば、ある要素の解釈が異なっている、等)が明確になり、評価をする際の“もやもや”が以前より“すっきり”としてきたように思います。皆さんの現場でも、フローチャートを活用してみませんか。

【参考文献】田中真理・阿部新(2014)『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』くろしお出版

日時・場所

6月17日(土)
12:00～17:00

東京大学駒場キャンパス
KOMCEE

総会 12:15～12:45
ワークショップ 13:00～17:00

講師

田中 真理 (名古屋外国語大学)
阿部 新 (東京外国語大学)
影山 陽子 (日本女子体育大学)
坪根 由香里 (大阪観光大学)
*佐々木 藍子 (国立国語研究所)
*準備協力者

◆お申込みは、以下のサイトの
【研究会のご案内】からお願いします。

AJG (アカデミック・ジャパニーズ・グループ) 研究会
<http://academicjapanese.jp/index.html>



◆お申込みについてのお問い合わせ

yokokage405attoma@gmail.com

東京大学キャンパスマップ

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map02_02_j.html

KOMECEE

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map02_01_55_j.html